

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属： スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格： 准教授

氏名： 種ヶ嶋 尚志

研究課題		青年期のアイデンティティ形成に影響する完全主義の心理学的研究
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>研究目的 本研究では、昨年度からの継続研究として、青年期アイデンティティ形成の完全主義的側面に着目し、アイデンティティ確立を示す重要な要素の記述を生涯発達の観点から明らかにする。</p> <p>研究概要 「自分とは何か」、「何のために生き、何のために死んでいくのか」といった生きる意味や価値に関する実存的な問いを自らに向ける。こうした問いに対し、肯定的かつ確信的に回答できることがアイデンティティの確立を示す重要な要素である。しかしながら、現代の日本では多くの人が自己の存在の意味・目的意識を持つことができず(佐藤,1998)、実存的なむなしさや不安感といった漠然とした気分を抱いているといわれている。そこで本研究では、青年期アイデンティティ形成に着目し、アイデンティティ確立を示す重要な要素の記述を完全主義パーソナリティの観点から調査し、アイデンティティ形成に影響した完全主義はどのような事柄であるのかを明らかにするものである。</p>
	研究成果	<p>研究成果 青年期の完全主義について文献による調査を行った(桜井1997、河村2003、齊藤2008等)。完全主義における性差は、男子の方が完全主義が高いことや、親からの期待度は進学や学業というような期待を高く感じる男子がより完全主義傾向が認められていた。親が「理想の子ども」イメージを有していることを感じると子どもは、その理想を追求しようと完全主義的になるといったことが示された。</p> <p>研究進捗として十分ではないため、今後はさらに新たな分析の視点を加え、基本的信頼感の関係性等を加味しながら、引き続き調査を継続するものである。</p>
研究業績	<p>・論文および著書</p> <p>著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p>	なし
	<p>・学会発表等</p> <p>発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p>	種ヶ嶋尚志 スポーツと動機づけ 第130回日本心身医学会関東地方会 平成30年2月10日 東京(日本大学病院)
	<p>・その他</p> <p>*学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等</p>	なし